

# 埼玉大学教育実践フォーラム 2022



明日を拓く学びのイノベーション  
－学校教育における【関わり／学び】を問い直す－

日 時： 2022年2月19日(土)  
会 場： Zoom によるオンライン開催  
主 催： 国立大学法人埼玉大学  
後 援： 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会  
埼玉県公立小学校校長会 埼玉県中学校長会  
さいたま市立小学校校長会 さいたま市中学校長会

---

## プ ロ グ ラ ム

教職大学院発表	9:00－10:30	全体会后，学卒1年次生発表
	10:40－11:50	2年次生・現職院生・修了生発表
全 体 会	12:45 開会	挨拶
	13:00－14:00	記念講演 汐見 稔幸 氏（白梅学園大学名誉学長） 仮題「教えから学びへ」
	14:00－14:45	附属学校園の課題と試み
ラウンドテーブル	15:00－17:00	国語 社会 算数・数学 理科 生活・総合 音楽 体育・保健体育 技術・情報 家庭 英語 STEAM教育

---

◇ 教職大学院発表 ◇ 9:00～11:50

※別記※

◇ 全体会 12:45 開会

◎ 記念講演 13:00～14:00

仮題「教えから学びへ」

汐見 稔幸 先生（白梅学園大学名誉学長・東京大学名誉教授）

近著『教えから学びへ：教育にとって一番大切なこと』2021年

「子どもを取り巻く国の動きから，現場の今後の取り組みにむけて」2022年

『人生を豊かにする学び』2017年

◎ 附属学校園の課題と試み 14:00～14:45

コーディネーター： 宇佐見香代（教育学部心理・教育実践学講座）  
パネラー： 小谷 宜路（教育学部附属幼稚園）  
吉野 竜一（教育学部附属小学校）  
高橋 太一（教育学部附属中学校）  
池澤 健（教育学部附属特別支援学校）

-----◎-----

◇ ラウンドテーブル ◇ 15:00～17:00

国語

題目：教育におけることばと主体性について

企画・司会： 戸田 功（教育学部言語文化講座国語分野）  
吉野 竜一（教育学部附属小学校）  
パネラー： 坂口 智（新座市立大和田小学校）  
野田 庸平（川口市立高等学校）  
新妻 千紘（東京家政大学）

社会

コーディネーター・司会 安原 輝彦（教育学部教育実践総合センター）  
前半題目：【小学校】社会がわかり、社会にかかわる児童の育成  
及川 恒平（教育学部附属小学校）  
鈴木 一徳（教育学部附属小学校）  
村知 直人（教育学部附属小学校）  
後半題目：【中学校】公民としての資質・能力の基礎を育成する社会科学習  
～資質・能力を育む指導と評価の一体化の在り方～  
石高 吉記（教育学部附属中学校）  
細野 悠司（教育学部附属中学校）  
高橋 佑樹（教育学部附属中学校）

算数・数学

テーマ「関数電卓使用を前提とする数学授業の構想と取組－2021（令和3）年度取組－」  
松崎 昭雄（教育学部自然科学講座算数・数学分野）  
今井 壺彦（草加市立草加中学校）  
波形 政輝（埼玉県立日高高等学校）  
鈴木 大樹（埼玉県立不動岡高等学校教諭）  
佐藤 陽平（大学院教育学研究科）

## 理科

- コーディネーター・司会： 大朝由美子（教育学部自然科学講座理科分野）
1. 発表「理科各分野（物理・化学・生物・地学・理科教育）の卒論・修論等の研究紹介」  
教育学部理科分野学部生・大学院生・長期研修生
  2. 発表「附属小中学校の実践発表・教材紹介」  
教育学部附属小・中学校理科部
  3. 講演 近藤 一史（教育学部自然科学講座理科分野）  
物理オリンピック・出張講義・ロゲルギスト精神

## 生活・総合

- テーマ：総合のカリキュラム・マネジメントにおける小学校と大学の連携  
－「私」と「社会」を表現するヒップホップ・ラップの授業づくりを事例として－  
\*附小の総合の提案をもとに、チャットやグループワークの機能で語り合しましょう。
- 話題提供者： 磯田三津子（教育学部心理・教育実践学講座）  
鈴木 康平（教育学部附属小学校）
- 座談会： 宇佐見香代（教育学部心理・教育実践学講座）  
横田 典久（教育学部附属小学校）

## 音楽

- テーマ：小学校音楽科における和音の学習を考える ー音楽史・教材・実践の視点からー
- 司会・話題提供： 森 薫 （教育学部芸術講座音楽分野）
- 実践報告： 納見 梢 （教育学部附属小学校）

## 図画工作・美術 ※今回開催せず

## 体育・保健体育

- 進行： 石川泰成（教育学部身体文化講座）
1. 実践発表  
「新学習指導要領の全面実施で授業はどのように変わるのか」  
首藤祐太郎（教育学部附属小学校）  
中嶋圭一郎（三郷市立早稲田小学校）  
阿部 健作（教育学部附属中学校）  
村上 一博（新座市立第六中学校）
  2. 分科会
  3. 情報提供 河野 裕一（埼玉県教育局県立学校部保健体育課）

## 技術・情報

【提案内容 15:00-16:30】

- 1) デジタルファブリケーションを活用した「材料と加工の技術」の指導過程の提案  
～製作経験に基づいた再設計場面におけるレーザー加工機の活用～  
木村 僚（教育学部附属中学校）
- 2) 身体知育成を主眼とした技術科教育の一考察 ～3D-CAD を活用したモノづくりを一例として～  
北原 立朗（湘南工科大学工学部）
- 3) AI による画像認識を題材としたプログラミング教育の提案  
伊藤 大河（共栄大学）
- 4) 新しい技術教育の枠組みに準じた指導と評価～生物育成の技術に焦点を当てて～  
船橋 秀太（所沢市立美原中学校）
- 5) 「材料と加工の技術」における「設計」を支援する AR 技術の活用  
竹澤 則乃（大学院教育学研究科）  
山本 利一（教育学部生活創造講座技術分野）

【グループディスカッション 16:30-17:00】 1)～5) に分かれて

テーマ別に分かれてグループディスカッションを行います。グループディスカッションには、指導助言者の先生にご参会頂き、話し合いを進めて頂く予定です。

- 指導助言者（予定）
- |                            |
|----------------------------|
| 浅川 直孝（埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課） |
| 安藤 義仁（蓮田市黒浜中学校）            |
| 永谷 和俊（さいたま市立大宮北中学校）        |
| 宮内 智（さいたま市教育研究所）           |
| 石田 康幸（教育学部名誉教授）            |
| 本郷 健（大妻女子大学）               |
| 本村 猛典（日本工業大学）              |
| 角 和博（佐賀大学教育学部名誉教授）         |

## 家庭

テーマ：ICTを活用した家庭科の授業

今年のラウンドテーブルでは、家庭科の授業において ICT を活用した実践事例を紹介します。後半には参加者の意見交換を行います。

1. オンラインを活用した高等学校・小学校の連携授業（保育分野）  
吉山 怜花・奥隅 成美
2. 附属小学校実践事例（住分野）  
渡邊はるか
3. 教職大学院の授業紹介（衣と食分野の教材研究）  
下田 耕大
4. 情報提供および協議  
コーディネーター： 亀崎 美苗（教育学部生活創造講座家庭科分野）  
司会： 川端 博子（教育学部生活創造講座家庭科分野）

## 英語

テーマ：外国語科における思考・判断・表現の評価を考える（仮題）

登壇者： 奥住 桂（帝京大学）  
有江 聖（さいたま市立下落合小学校）  
蓬澤 守（教育学部附属中学校）  
高橋 太一（教育学部附属中学校）  
今泉 恵里（教育学部附属中学校）  
及川 賢（教育学部言語文化講座英語分野）

特別支援教育 ※今回開催せず

## STEAM教育

\*近日公開

(2022.2.9)

ルーム 1				
①	9:20~	学校構想	鶴岡 謙介	現職教員の教職意識に関する調査研究 -採用前から採用後、現在に至るまでの教職イメージの変遷-
②	9:35~	学校構想	齋藤 凜子	愛着形成に課題を持つ子どもに関わる教師の在り方をめぐり考察 -情緒障害特別支援学級での実践を通して-
③	9:50~	学校構想	島崎 皓太	小学生の閉鎖的空間と開放的空間における比較研究
④	10:05~	学校構想	川原 竜平	児童期の自己理解の実態をとらえた教育実践と支援 -自己調整学習を促す授業づくりの工夫-
ルーム 2				
①	9:20~	特別支援	織田 あおい	知的障害児に対する主体的・対話的で深い学びを促す教材づくりとその活用に関する研究
②	9:35~	特別支援	清水 あゆみ	知的障害児の情動のコントロールの支援法に関する研究 -主体的な学習に繋げるために-
③	9:50~	特別支援	山口 和輝	知的障害特別支援学校高等部におけるキャリア教育の在り方と課題に関する研究 -生徒の自己実現に向けた主体性を育む取り組みに注目して-
④	10:05~	特別支援	田村 舞	特別支援学校の特別支援教育コーディネーターによる学校コンサルテーションに関する研究 -通常学校教員との協働に向けた取り組み-
ルーム 3				
①	9:20~	学校保健	古沢 夏海	教師に求められる身体に関する教養 -教育心理と対をなす学校保健・学校安全の教職必修化-
②	9:35~	学校保健	黒木 結菜	栄養の摂取状況と発育・発達の関連
③	9:50~	言語・国語	山田 真由	中学生の実態に応じた授業づくり
④	10:05~	社会	小池 美花	地域素材を活用した中学校社会科授業の検討 -熊谷空襲の教材化-
ルーム 4				
①	9:20~	社会	鈴木 大翔	社会科の授業開発と子ども理解
②	9:35~	社会	小見 和也	「身近」に学ぶ中学校社会科の教材開発と実践
③	9:50~	社会	原口 芽	世界史教科書におけるイスラーム記述の分析 ~前近代を中心に~
④	10:05~	自然・数学	棚澤 日菜子	高等学校数学科における関数電卓使用を前提とする授業の構想 -ピタゴラス音律の算定法によるモノコードの弦の長さを求める活動を通して-
ルーム 5				
①	9:20~	自然・数学	松井 雄一郎	数学的表現と身体的表現のつながりを意図した小学校算数科の授業に向けて -Kinectのモーション・キャプチャ機能に着目して-
②	9:35~	自然・数学	久保 直希	協働的学びを促す数学指導に関する研究
③	9:50~	自然・数学	長島 晴彦	対話的な学びを活性化させる数学指導に関する研究
④	10:05~	自然・理科	千田 将貴	小学校理科にSDGsを関連づける理論と実践に関する研究

ルーム 6

①	9:20～	自然・理科	石井 玲央	高校生物におけるICT機器の効果的活用の検討
②	9:35～	自然・理科	柴田 大介	ICT機器を活用した学校活動・授業実践について —理科における動画学習教材の活用—
③	9:50～	自然・理科	古矢 善人	電磁石の理解を深めるためのモールス電信機の試作
④	10:05～	自然・理科	宮城 律暉	マイコンボードを利用した計測機器の開発

ルーム 7

①	9:20～	身体文化	山田 大地	東洋的身体技法の教材化 —高等学校の体づくり運動を対象に—
②	9:35～	芸術・美術	三橋 咲希	小学校図画工作科におけるICT活用の可能性 —「やりたい!」を引き出す授業研究—
③	9:50～	芸術・美術	荒井 理子	子供同士が認め合う環境を創出する図画工作科指導法の研究

ルーム 8

①	9:20～	生活・技術	渡邊 晶	持続可能な社会を構築する観点を組み入れた技術分野ガイダンスの指導過程の提案
②	9:35～	生活・技術	霜田 航貴	技術科教育の「生物育成の技術」に関する授業実践モデルの研究
③	9:50～	生活・技術	島崎 幹大	スクールガーデンの活用に向けた植物系堆肥の連用に関する基礎的研究
④	10:05～	生活・課程	下田 耕大	家庭科住領域における防災教育の授業展開

M2 M1現職発表プログラム 10:40～11:50 \*発表要旨をダウンロードする際は、ルーム番号・順番・氏名でファイルを探してください。

ルーム 1

①	10:40～	教育実践 高度化コース	浅見 寿文	教育活動全体での系統的なキャリア教育推進に向けた実践研究 —基礎的・汎用的能力の育成に注目して—
②	11:00～	教育実践 高度化コース	内田 陽	英語学習における主体的・対話的で深い学びに関する研究 —協働的な言語活動を活性化する教師の発問の工夫に着目して—
③	11:20～	教育実践 高度化コース	川田 有輝	高等学校工業科における3D-CADを活用した指導過程の提案 —海流発電用タービンの設計と評価—

ルーム 2

①	10:40～	教育実践 高度化コース	竹澤 則乃	中学校技術・家庭科技術分野における人工知能を用いたプログラミング学習に関する指導過程の提案と評価
②	11:00～	教育実践 高度化コース	多田 恵子	社会情動的スキルの涵養を目的とした実践的研究 —汎用的なリフレクションに着目して—
③	11:20～	教育実践 高度化コース	東條 走	心の居場所づくり —子どもをみつめる教師を目指して—

ルーム 3

①	10:40～	教育実践 高度化コース	西野 翼	政治的な見方・考え方を働かせる小学校社会科授業の改善 —児童に主権者意識を育む小学校社会科授業の構想—
②	11:00～	教育実践 高度化コース	西元 陸	ICT機器の活用に着目した運動が苦手な生徒に対する学習支援
③	11:20～	教育実践 高度化コース	長谷川 典子	自己の生き方を見つめ、考え、暮らしに生かす道徳教育の推進 —いまを生きる子供の視点から考える道徳科—

ルーム4

①	10:40～	教育実践 高度化コース	濱崎 一成	小学校国語科「書くこと」における系統性と指導の課題に関する研究 —説明的な文章を中心に—
②	11:00～	教育実践 高度化コース	間下 智司	主体的な読みの力を高める国語科指導法の研究 —中学校における読書の価値や効用を実感できる対話的な読書指導の検討—
③	11:20～	教育実践 高度化コース	松原 弘大	実生活と関連させた算数授業の展開について —子どもが必要感を伴う授業のために—

ルーム5

①	10:40～	教育実践 高度化コース	水村 祐太	中学校英語科における「話すこと」の言語活動について —即興性を伴う活動の効果—
②	11:00～	教育実践 高度化コース	宮脇 諒	児童が主体的に算数を創造する授業 —子どもが「何を考えるか」から考える算数授業の実現とその充実を目指して—
③	11:20～	教育実践 高度化コース	山田 将也	理科教育における主体的な学びに関する研究 —OPPA論を中心として—

ルーム6

①	10:40～	発達臨床支援 高度化コース	大島 啓輔	強みを活かして好きを究める授業づくり —進行性筋ジストロフィーのある生徒の指導方法の検討—
②	11:00～	発達臨床支援 高度化コース	大滝 亮司	通常学級における異質性・多様性を活かした教室づくり —特別支援教育の視点を踏まえた非認知能力を育むアプローチ—
③	11:20～	発達臨床支援 高度化コース	忍田 純哉	合理的配慮の提供に向けた合意形成の進め方の検討 —知的障害特別支援学校における校内の仕組みの構築—

ルーム7

①	10:40～	発達臨床支援 高度化コース	小林 日向子	学級における心の居場所の研究 —教育的ニーズの多様な学級に着目して—
②	11:00～	発達臨床支援 高度化コース	竹之下 祥子	教育相談の現状と課題についての考察 —一次的援助サービスを中心に据えた実践から—

ルーム8

①	10:40～	学校構想	平裕 美誠	「1人1台端末」の時代を踏まえた学びの仕組みづくり
②	11:00～	学校構想	塩崎 貴裕	「学び方」の多様な児童への指導・支援 —実態把握ツールの活用を通じた教師の気付きと授業づくりの一考察—
③	11:20～	特別支援	新井 勇氣	特別な支援が必要な児童の心身を育てるための運動指導の工夫 —他者とのかわりを豊かにするための特別支援学級におけるムーブメント教育・療法の活用—

ルーム9

①	10:40～	特別支援	師岡 薫	知的障害特別支援学校における社会に開かれた教育課程 —卒業生保護者によるカリキュラム評価を踏まえた教育内容の考察—
②	11:00～	特別支援	三浦 駿介	UDLガイドラインを用いた知的障害特別支援学校の授業改善 —集団の授業における指導・支援への活用の検討—
③	11:20～	特別支援	柳瀬 貴之	軽度知的障害のある生徒の自己理解についての研究 —多角的な実態把握に基づく自立活動の個別の指導計画—

ルーム10

①	10:40～	言語・国語	野田 庸平	思考力育成のための「探究的活動」の方策について —「一般型入試」と「探究的活動」相互の効用と課題を視野において—
②	11:00～	言語・英語	荒木 康佑	自分の思いを伝えることのできる小学校英語の研究 —やり取りを中心とした指導法を探る—
③	11:20～	社会	豊岡 寛行	「哲学に関わる対話的な手法」に基づく授業実践の研究 —社会的な見方・考え方の涵養をめざして—



ルーム11

①	10:40～	社会	井上 法好	社会への関わり方を選択・判断する社会科授業デザイン
②	11:00～	自然・数学	黒澤 崇聡	非認知能力を育てて学力の向上を図る数学指導について —中学校数学科における問題解決の授業を通して—
③	11:20～	自然・理科	中山 直之	児童が科学的な資質・能力を高めるための指導の工夫 —協調問題解決による児童の協調性・有能感の向上を目指して—

ルーム12

①	10:40～	芸術・音楽	鳥塚 沙由里	小学校低学年音楽科における「対話的な学び」 —子どもの言葉を中心に据える教育方法の探究—
②	11:00～	芸術・音楽	橋本 隆	生涯にわたって音楽に親しむ児童を育てる常時活動 —「ふしづくり一本道」の今日的意義の検討と教材開発—
③	11:20～	生活・技術	木村 僚	データサイエンスの視点を取り入れた画像認識の仕組みを学習するプログラミング学習の提案